

報道関係各位

2022年4月27日
熊本県立熊本高等学校
一般財団法人三菱みらい育成財団

【取材案内】

**三菱みらい育成財団の2022年度助成校に採択/熊本高等学校
都市緑化フェアに熊本高校生が展示で参加
「おもいこみデザイン展・思い込みふるさと市【サクラマチ】」
2022年5月7日(土)～5月22日(日)
於：サクラマチ クマモト メインエントランス・BF1 イベントスペース (2会場)**

熊本県立熊本高等学校(所在地：熊本県、校長：牛田卓也)は、未来を担う若者の育成を目指す教育機関等への助成、及びその成果を広く社会に波及させるための事業を行う一般財団法人三菱みらい育成財団(所在地：東京都千代田区、理事長：平野信行、以下財団)より、高校生の心のエンジンを駆動させるプログラム「ワクワククロスリアリティフォーラム(WXRフォーラム)」に関して2021年度の助成校に採択され、引き続き2022年度についても2,000,000円の助成が決定しています。(3年間で計6,000,000円の助成)三菱みらい育成財団からの助成対象プログラム概要は、

「地方に所在する高校であることに加え、現在のコロナ禍ともあいまって生徒達の活動が地理的・物理的・心理的制約を抱える中、様々な垣根を超えて、学校外の多様な価値観と出会い、自分自身や他者を見つめられる交流の場として、現実と仮想現実空間をつなぐクロスリアリティ(XR)型のフォーラムやシンポジウムを行う。「多様性」「国際性」を重視しながら、「探究活動」「創作活動」を行い、「科学技術」「イノベーション」「デザイン思考」教育を通して、未来へ向けたセレンディピティを生み出す。」というもの。

今回、採択された同校の取り組みの一貫として、2022年5月7日(土)から熊本高等学校の生徒が様々な企業とコラボし学びながら「おもいこみデザイン展・思い込みふるさと市」に参加します。これにより、熊本高等学校での探究成果を広く示して、熊本県民の皆様に紹介する機会としたいと思っています。

「おもいこみデザイン展・思い込みふるさと市」の実施内容

熊本高校はフォトオブザベーションを推進しており、ファシリテーターの養成も実施してきました。この度、全国都市緑化フェアで生徒達が行ってきたフォトオブザベーションをサクラマチ クマモトメインエントランスにおいて公開し、発信の場として2つのテーマ『進め、くまもと』『いのちの散歩道』で展示を行います。リアル展示と合わせ、この機会に学んだ新しい表現の方法であるAR展示も同時に行い、新しい空間デザインによって生徒の「気づき」や「問い」等の『思い』が『込め』られた展示会にしたいと考えています。また、熊本高校生が地域の企業とともに地域の特産品に関する探究活動を行っており、地域企業と共にサクラマチ クマモトBF1 イベントスペースにおいて、『思い込みふるさと市』を企画し、その魅力をPRし販売を行います。さらに、来場された方々にとって、記念になるようなARフォトコーナーも設置します。この機会を通してみんなで考える未来や、新しい学びについて、武蔵野美術大学、NTT西日本、地域企業と共に創り上げていくことを目的としています。(担当教諭：早野 仁朗)

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ではございますが、ご興味ございましたら、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

「心のエンジンを駆動させるプログラム」として採択

熊本高等学校の本教育プログラは、同財団が設定した5つのカテゴリーのうちの1つである「心のエンジンを駆動させるプログラム」として、助成期間は2021年7月から2022年3月までを1期間として2023年度までの3年間継続を予定しています。

主体的・協働的な学習、多様な価値観に基づき思考や発想を出し合いながら創造的な活動や探究的な活動を行うといったカテゴリーのテーマに、本プログラムが合致することから、助成を決定しました。

同財団は、三菱グループが創業150周年を迎えるにあたり、22世紀を創る人材育成を目的に2019年に発足しました。10年間で100億円を拠出し、一人ひとりの個性と可能性を引き出し、自ら問い、考え、行動できるような若者を育てるための教育を目指して、財団では助成事業のプログラムを構想しています。1案件に最長3年間まで助成していく長期的な支援と、助成先である教育関係者が自ら開発した教育プログラムを継続的に実施・改善することで、次世代の教育プログラムとして定着させていく活動をサポートしています。

展示概要

開催日 : 2022年5月7日(土)～5月22日(日)
※(7,8,14,15,21,22日は現地販売) 準備日5/6
営業時間は(10:00～17:00) 展示は(期間中すべて)

場所 : サクラマチクマモト
メインエントランス・BF1 イベントスペース(2会場)

参加生徒 : フォトオブザバージョン1,2年生・応募生徒(150名程度)・華道部
総合的な探究の時間(きくらげ班・い草班・銘菓班・熊本城班)
CI 同好会

■熊本県立熊本高等学校スクール・ミッション

本校は、「土君子」たるの修養を目指す教育方針のもと、熊本市にある普通科の高校として、徳性、智能、体力を兼ね備え、深い自己理解のもと、個性を生かし、主体性を礎に社会に積極的に関わっていく自立した個人として、様々な分野でリーダーや先駆者となり、新たな社会 Society5.0 をリードし、地域や世界に貢献するイノベティブでグローバルな人材を育成します。そのため、誠実心、教養、感性の育成に重きを置き、文理が融合した学びや探究的な学びなどを通して、生徒の個性をより多彩(多才)に伸ばすとともに、普通科教育をけん引する研究・開発型の教育を目指します。今後は、これまでの教育活動の蓄積と国のワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム事業の取組の成果を生かして、海外をフィールドにグローバルな社会課題の解決に向けた探究的な学びの実現やオンライン環境を駆使したカリキュラム開発、教科横断的な学びである STEAM 教育等の新たな教育への挑戦を通して高度な学びを展開します。

■財団概要

名称 : 一般財団法人 三菱みらい育成財団
所在地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
設立年月 : 2019年10月1日

理事長　：平野信行

創業 150 周年を迎えるにあたり三菱グループは、22 世紀を創る人材育成を目的に、一般財団法人三菱みらい育成財団を 2019 年に発足しました。10 年間で 100 億円を拠出し、助成先である教育関係者が自ら開発した教育プログラムを継続的に実施、たえず改善することで、次世代の教育プログラムとして定着させていく活動をサポートしています。初年度には探究型学習を軸とする「心のエンジンを駆動させるプログラム」と、突出した人材を発掘し育てる「先端・異能発掘・育成プログラム」を立ち上げました。初年度の成果を踏まえ 2021 年度には、大学・研究機関等、NPO・教育事業者等が開発実施する「21 世紀型 教養教育プログラム」と、「心のエンジンを駆動させる」ための導き手をつくる育成プログラム「主体的・協働的な学習を実践できる教員養成・指導者育成プログラム」を追加しました。